

東海歯科医療専門学校 学校自己点検・評価表

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施日：令和5年5月10日

1. 学校の教育目標

- ・学生1人1人に寄り添い、国家試験合格に導く。
- ・現状に満足せず、将来も絶えず向上心を持って進むよう導く。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・学生自ら考える力とプレゼン力をつけるために、アクティブラーニングの授業を多く取り入れる。
- ・プログラミングとデジタル技工の授業内容の確立
- ・基礎学力の向上
- ・付加価値のある選択制ゼミの充実
- ・教員がデジタル技工に関するスキルアップをし、授業内容の充実を計る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
1-2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	4
1-3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4
1-4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	4
1-6	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	4
1-7	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4

① 課題

理念・目的・育成人材像はスチューデントマニュアルに明記しており、新入生オリエンテーション、保護者会等で周知している。

教育課程編成委員会における提言を参考にし、業界のニーズに向けて教育方法を再検討しながらカリキュラム編成を行っている。

② 今後の改善方策

業界の変化に対応できるよう、教育課程編成委員会のご提言、業界のニーズ分析を行い、カリキュラム編成を行っていく。また、それを周知し、学生・保護者の理解を得る。

2 学校運営		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
2-1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	3
2-3	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	4
2-4	学校の年間スケジュールはあるか	4
2-5	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	4
2-6	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
2-7	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	4
2-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-9	専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を受講させているか	4
2-10	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	3
2-11	人事に関する制度を整備しているか	4
2-12	給与に関する制度を整備しているか	4
2-13	採用制度は文書化されているか	4
2-14	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

情報システム化による業務の効率化についてはペーパーレスの観点からもジョブカンを令和5年1月から試行導入している。勤怠については4月からスタートしているが定着までには時間を要することになるが慣れれば効率化に寄与する。

3 教育活動		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
3-1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4
3-2	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	4
3-3	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	4
3-4	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4
3-5	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	4
3-6	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	2
3-7	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	4
3-8	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	2
3-9	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	4
3-10	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
3-11	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4
3-12	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	4
3-13	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	4
3-14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	4
3-15	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	4

① 課題

定期的な授業の観察、評価結果のフィードバックについて常勤講師間での情報共有はなされているが、特に非常勤講師においては実施できていない講師もいる。

② 今後の改善方策

定期的な授業の観察を行い、講師に対する評価結果のフィードバックを口頭または書面にて通知する。

4 学修成果・教育成果		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
4-1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	4
4-2	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	4
4-3	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	4
4-4	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	2
4-5	国家試験結果に関して検証・報告がされたか	3
4-6	国家試験結果(合格者数・合格率)を公表しているか	4
4-7	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	4

① 課題

就職希望者の就職率は100%であるが、国家試験合格率は81.3%に低下した。

② 今後の改善方策

国家試験対策講座、個別指導を実施していたが、国家試験不合格となった受験者の学習状況を改めて分析し、対策講座や個別指導の方法を再検討する。

5 学生支援		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
5-1	学生への修学支援を適切に行っているか	4
5-2	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	4
5-3	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	4
5-4	学生の面談・相談記録があるか	4
5-5	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
5-6	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4
5-7	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	3
5-8	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	4
5-9	退学者数を公表しているか	4
5-10	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	4

5-11	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	4
5-12	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	3
5-13	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	2

① 課題

在校生の面談は定期的実施し、学生の状況把握と教員間の情報共有に努めている。

卒業生の再就職、キャリアアップ等について随時相談に乗っているが、相談窓口を利用せずに退職し再就職しない方もいる。

卒業教育は関係団体の紹介に留まり、学校として卒業教育の場を設けていない。

② 今後の改善方策

卒業後も支援体制があることを再度周知し、相談しやすい体制を構築する。

6 教育環境		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
6-1	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	4
6-2	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	4
6-3	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	4
6-3	学内外の実習施設、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	該当なし
6-4	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
6-5	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	3
6-6	定期的に防災訓練を実施しているか	4

① 課題

歯科技工用 CAD/CAM システムを設置し、歯科技工のデジタル教育環境が整備されている。

教室や防災設備の老朽化が見られる。

② 今後の改善方策

教室や防災設備の老朽化が見られる箇所については、適宜点検と整備を実施する。

7 学生の受入れ募集		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
7-1	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	4
7-2	学校説明会等による情報提供(育成人材像、目指す資格、学費・教材費等の情報)を行っているか	4
7-3	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか	3
7-4	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	3
7-5	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	4
7-6	学納金は妥当なものとなっているか	4
7-7	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4

① 課題

コロナ禍の影響もあり、訪問などによる高等学校との接触の機会が減少し、高等学校への本学の魅力や特色を十分に伝えることができていない。また、卒業生調査により在校生に本学の理念が十分に浸透していない事実が浮き彫りになっている。

② 今後の改善方策

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、の感染法上の位置づけが引き下げるなど環境が整いつつあることから、訪問による高等学校への情報提供により卒業生の国家試験や就職などの実績をアピールするとともに、在校生による母校訪問を再開することで、学生目線での本学の情報を高等学校へ届ける努力をする。また、学校ホームページを見直し、学園の理念を分かり易く紹介する。

③ 特記事項

歯科技工士科の魅力伝えるため、急成長している CAD/CAM などのデジタル歯科技工教育への本学の取り組みをアピールする。

8 教育の内部質保証システム		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
8-1	養成施設指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか	4
8-2	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	4
8-3	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3
8-4	個人情報保護規程が文書化されているか	4
8-5	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	3
8-6	自己点検・評価の組織があるか	4

8-7	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	4
8-8	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4
8-9	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	4
8-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
8-11	自己評価結果を公開しているか	4
8-12	学校関係者評価結果を公表しているか	4

① 課題

・規程の見直し、改廃を行っているが、全ての規程の見直しまでには至っていない。

② 今後の改善方策

規程の改廃が必要なものをリストアップし、規程改廃を検討する。

9 財務		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1
9-1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	4
9-2	年度予算・中期計画が策定されているか	3
9-3	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
9-4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	3
9-5	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	4
9-6	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	4
9-7	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	4

① 課題

予算の執行状況については4半期ごとに分析しているが項目により予算外の支出があることがある。

② 今後の改善方策

飛び込み案件について財務面での中長期計画を策定した上での判断をするようにする。引き続き、計画的な学園ごとの建物の補修工事の策定が必要である。

10 社会貢献・地域貢献		適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
10-2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3
10-3	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1

① 課題

セムイサロンでは、地域の方に参加いただき、咀嚼の重要性について公開講座を実施した。

藤が丘さくらまつりに参加し、歯科技工の技術を使った手形・指型づくりを多くの地域の方に楽しんでいただいた。

学生の地域清掃ボランティアの発案があったが実施に至っていない。

② 今後の改善方策

外部団体からボランティア活動の案内があった場合には周知する。

学生の地域清掃ボランティア活動を計画する。